

開催月日：2016年2月16日（火）

開催場所：首都大学東京日野キャンパス

10:30~11:50 各種大気ライダー

(1) 局地的大雨予測のための水蒸気 DIAL

○阿保 真、菊田達也、Pham Le Hoai Phong（首都大）、酒井 哲（気象研）

(2) ファイバーレーザー励起 Ho:YLF レーザによるドップラーライダー

○水谷耕平、石井昌憲、青木 誠（NICT）、大塚涼平（首都大）、佐藤 篤、浅井和弘（東北工大）

(3) 国際宇宙ステーション搭載植生ライダー(MOLI)を利用した大気観測の可能性

○杉本伸夫、西澤智明（国立環境研）、浅井和弘（東北工大）

(4) つくばとニュージーランド・ローダーで観測した成層圏エアロゾルの長期変動と季節変動

○酒井 哲、内野 修、永井智広（気象研）、Ben Liley(NIWA)、森野 勇（国立環境研）、藤本敏文（気象庁）

13:00~13:30 特別講演

(5) 特別講演 大気観測のためのライダーネットワークについて

○内野 修（国立環境研・気象研）

13:30~14:50 対流圏ライダー観測

(6) 多波長ラマンライダーによる地上ネットワーク観測

○西澤智明、杉本伸夫、松井一郎、清水 厚（国立環境研）、原由香里、鶴野伊津志（九大）、安永数明（富山大）

(7) ゴビ砂漠に設置したシーロメーターのデータ解析

○河合 慶、甲斐憲次（名大・環境）、神 慶孝、杉本伸夫（国立環境研）、D. Batdorj（モンゴル気象環境監視庁）

(8) モンゴル・ゴビ砂漠における二重ダスト層の解析：シーロメーター連続観測の結果

○西尾優汰（名大・理）、河合 慶、甲斐憲次（名大・環境）、D. Batdorj（モンゴル気象環境監視庁）

(9) 福岡でライダーにより観測された大気境界層の日変動

○白石浩一、山本真由美（福岡大）、水谷耕平（NICT）

15:10~16:30 ライダー技術

(10) OPG光源を用いた1.6 $\mu$ m直接検波DIALによるCO<sub>2</sub>観測

○柴田泰邦、長澤親生、阿保 真（首都大）

(11) 植生ライダー用与圧筐体封入レーザーの試験状況

○境澤大亮、室岡純平、今井 正、木村俊義（JAXA）、浅井和弘（東北工大）

(12) 波長可変共鳴散乱ライダー観測の改良～光ヘテロダイン干渉法による発振レーザー周波数の測定～

○江尻 省、西山尚典（極地研）、津野克彦（理研）、津田卓雄（電通大）、阿保 真（首都大）、和田智之、小川貴代（理研）、中村卓司（極地研）

(13) 下部対流圏オゾン観測用全固体DIALの開発

○阿保 真、内田行紀（首都大）

16:40~17:10 首都大新ライダー実験室見学会